



新宿区

暮らしやすさも賑わいも
一番の自治のまち「新宿」

平成27年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
平成27年2月18日(水)

事業名	避難所機能の強化 ①備蓄物資の購入(備蓄物資の更新)②災害訓練	予算(案)の概要	106 ページ
予算額	① 41,146 千円 (拡充) (前年度予算額 ① 40,360 千円)	② 3,000 千円 (継続) ② 3,000 千円	
取材先	区長室 危機管理課 地域防災担当副参事 鯨井 (電話 03-5273-3874)		

1 簡易トイレ用「便袋」の充実

約32,000袋

※簡易トイレ「便袋」備蓄数

約82,000袋 平成27年度
50,000袋を追加配備

※平成27年度配備後

★震災時の避難所のトイレ確保

◇災害用仮設トイレ

避難所(学校等)のトイレが使用できない場合に備え、災害用仮設トイレを各避難所に配備。
※各避難所あたり5~7台



溜め込み型



下水道直結型

- 避難者が多く、トイレ数が足りない!
- 便槽が、満杯になってしまった!(溜め込み型)
- 下水管の破損、ポンプが故障(直結型)
- 外の仮設トイレは使えない要配慮者の方がいるなど……

◇簡易トイレ



←便袋

仮設トイレのバックアップとして各避難所に配備している(各避難所あたり24台)。便袋が使い捨てであるため、インフラの障害等には強く、確

- 便袋の備蓄は、31,800袋(H27年2月現在)
- 便袋の備蓄量がバックアップとして、機能強化が課題であった。

★その他の備蓄物資の更新及び追加配備

- ・防寒シート、飲料水の追加配備(9,478千円)
- ・従来備蓄物資の更新(26,052千円)

事業の目的

避難所のトイレに起こる想定外の事態を乗り切るための「簡易トイレ」の機能を強化する。
昨年、特別区の「災害時のし尿及びがれき処理の具体的な対応策の検討」で、簡易トイレ便袋等についても、回収・焼却処理されることが示され、これを受けて「便袋」の備蓄を大幅に拡充する。

避難所内の使用できないトイレに便袋をかけて使用することもできる。



2 「避難所開設キット」を活用した避難所訓練

平成27年度、新たに

6避難所で実施

※27年度末で計9所となる。

3,000千円

※工学院大学と協働で実施。「避難所開設キット」は、平成26年度までに3避難所に試験的に導入している。

◇避難所開設キットとは?

●避難所の開設・運営において、最低限、誰かがやらねばならないことを業務ごとにファイルケースにパッケージ化したもの。業務フロー、必要な資材、用紙、チェックシート等がそれぞれに入っている。

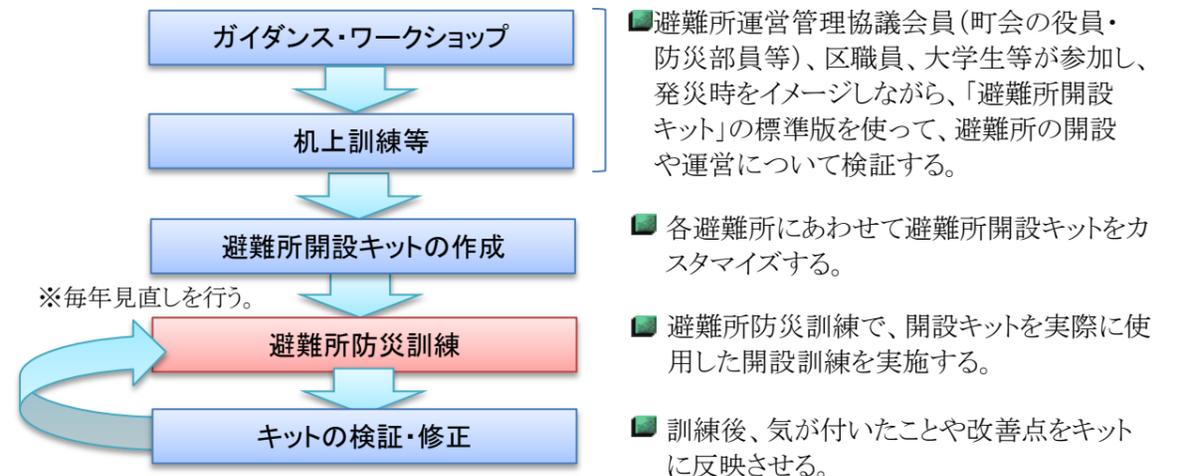
●訓練に参加したことがない方でも、スムーズに避難所の開設や運営にかかわることができる。

●キットを使った、より実践的な避難所開設訓練に活用し、避難所訓練の質を高める。



避難所開設キットのイメージ

◇訓練実施の流れ



事業の目的

- ①災害発生直後の混乱期に「マニュアル」を読みながら、避難所を地域の力だけで開設することができるのだろうか?という不安の解消を図り、「自助・共助」の力を高める。
- ②「避難所開設キット」は、これまで工学院大学とともにモデル校で取り組んできた「女性や要配慮者の視点を取り入れた避難所運営」での検討成果が反映されており、今後、順次導入していくことで、他の避難所運営にノウハウを拡大していく。